

“なにか”の育成



自立する基礎力の形成と個性・創造性の伸長

生涯にわたる人格形成の基礎を培います (幼稚園教育)

- 幼稚園の「遊び」を小学校の「学び」につなげられるよう、幼稚園と小学校の連携を促進
- 幼稚園で、保護者の学習会・交流会や、預かり保育などの子育て支援を実施



障害のある子どもの可能性を伸ばし、自立を支援します (特別支援教育)

- 地域の学校園における特別支援教育が充実するよう、特別支援教育コーディネーターを中心とした体制づくりや、医師などの専門家による支援を実施
- 新たな特別支援学校を設置し、地域におけるセンターとしての機能を充実

都市の持続的発展に資する人材を育成します (高等学校教育)

- 新商業高校(大阪ビジネスフロンティア高等学校)をはじめ、大学や産業界と連携した特色ある高等学校づくりを推進

大阪ビジネスフロンティア高等学校

国際ビジネス社会で活躍する高度な専門性を備えたビジネススペシャリストの育成をめざし、高校・大学の7年間を見据えた教育課程による新しいタイプの高校を24年4月に開校します。



基本方向2

“なにか”の育成に向けて

質の高い学校教育を推進します

学校力の向上を図ります

- 学校評価を活用したPDCAサイクルにより、学校園の教育活動を検証・改善
- 校舎の耐震化や、小・中学校の普通教室への空調機設置などの環境整備を推進
- 小学校の小規模化に伴う課題の改善のために、地域と協働して学校配置の適正化を推進

教職員の資質・能力を高めます

- 教員をめざす大学生に、実践的な指導力を養成する講座を開催
- 経験豊かな指導員を学校に派遣し、校内研修を支援
- 優れた指導技術を集めたデータベースを教員に提供

学校評価

学校評価は、学校園運営を改善するとともに、取組を保護者や地域の方々に知っていただくことを目的としています。

学校評価には、学校園が取組の達成状況等について自ら評価を行う自己評価と、保護者や地域の方々から自己評価結果についてご意見をいただく学校関係者評価があります。



目標像2

パートナーシップに基づく“自律と協働の生涯学習社会づくり”の推進

日常の課題を自ら解決にあたるための「市民力」をはぐくむ生涯学習を支援し、市民・地域団体・NPO・企業・行政などが協働して、まちづくりの課題に取り組むという“自律と協働の生涯学習社会づくり”を推進します。

自律と協働の生涯学習社会

「市民力」をはぐくむ生涯学習の推進
「まなび」を基本としたコミュニティづくり
「まなび」のネットワークづくり

基本方向3

“なにか”の育成と“自律と協働の生涯学習社会づくり”の推進に向けて

社会総がかりで子どもをはぐくむ活動に取り組みます

学校・家庭・地域の連携を図ります

- 小学校区の「はぐくみネット」や中学校区の「学校元気アップ地域本部」で、学校・家庭・地域が一体となった教育コミュニティづくりを推進
- 子どもの体験学習に図書館や博物館などを活用
- 産業界の協力によりキャリア教育を充実

「大阪らしさ」を生かした教育を進めます

- 大阪の文化財を活用したり、文楽や上方落語を鑑賞したりするなど、大阪を知る活動内容を充実
- これからの大阪を担う人材が専門的な知識や技能を高められる学習機会の提供

教育コミュニティづくり

大阪市では、学校・家庭・地域がつながりを深め、学校や家庭の教育を支えるため、「教育コミュニティづくり」を進めています。

各校区では、保護者や地域住民の方々が、ボランティアとして、学校図書室の運営や部活動の技術指導、登下校の見守などに取り組まれています。



基本方向4

“自律と協働の生涯学習社会づくり”の推進に向けて

「自律と協働の社会」をつくる生涯学習を推進します

「市民力」をはぐくむ生涯学習を充実します

- NPOや大学、企業と連携し、市民にさまざまな学習機会を提供
- 情報誌「いちよう並木」や「いちようネット」などにより、生涯学習の情報を提供
- 生涯学習活動を支えるボランティアを養成

市民協働によるまちづくりにつなげます

- 教育コミュニティづくりを通じて、地域住民の交流や活動を活性化
- 総合生涯学習センターを中核として、市民の生涯学習や自主的な活動を支援
- 市立図書館を市民の知識・情報基盤として機能を整備

知識創造型図書館

図書館では、「いつでも・どこでも・だれもが、課題解決にアクセス可能な、創造都市の知識・情報基盤」をめざし、商用データベースの提供やビジネス支援、子どもの読書活動の推進などに取り組んでいます。

